

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

令和7年度
平戸市立田平中学校
学校だより 第7号
(令和7年 7月)
文責 堀江 泰賢

保護者・地域の皆様、ありがとうございました ～『長崎っ子の心を見つめる教育週間』終了～

6月25日(水)から7月1日(火)まで、今年度の「長崎っ子の心を見つめる教育週間(学校開放)」を行いました。長崎県では、平成16年からこの教育週間が開始され、すべての公立学校で教育活動の公開が行われ、学校と保護者や地域住民が連携し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高めるとともに、“いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成”を目指しています。

本校でも、期間中、通常授業の公開をはじめ、校長による「命の講話」、「AED講習会」、「命に関する道徳の授業」、「情報モラル講演会」などを行いました。また、第1回学校支援会議も、初日に開催させて頂きました。

期間中、保護者の皆様や学校支援委員会の委員さん、民生児童委員さんにご来校いただきました。本年度2回目の授業参観でしたが、保護者の皆様の参観が増えたように感じました。子ども達の様子は勿論、本校の先生方の指導・支援の様子、校舎内外の環境、学校全体の雰囲気などを、直接、ご覧いただける機会です。公私ともにお忙しいこととは存じますが、次回の授業参観や学校行事にも、多数、ご来校頂きますようお願い致します。



メディアの適切な利活用、出来ていますか? ～「情報モラル講演会」・「ノーメディアデー」～



6月25日(水)、情報モラル講演会を開催し、講師の立岡みや子(SO)先生から『「共に前へ」一歩前進、昨日と異なるメディア観!』と題して、長時間のメディア使用が子どもの心身の成長・発達や学力に及ぼす影響やスマホ・ゲーム依存症の原因と予防等を中心に学習しました。また、今年度も、田平地区の小中学校では、毎週月曜日は「ノーメディアデー」として、メディアから離れて、家族との団らんや家庭での読書に取り組んでいきます。

子ども達には、ゲーム(オンラインゲーム)やインターネット(YouTube)、ライン・インスタグラムなどのSNSを適切に利活用し、現在、発達途上にある脳機能や身体の健全な発育を妨げないように注意し、また、情報発信では、自分も相手・他人も不愉快な思いをすることが無いよう、細心の注意を払って利活用してほしいと思います。

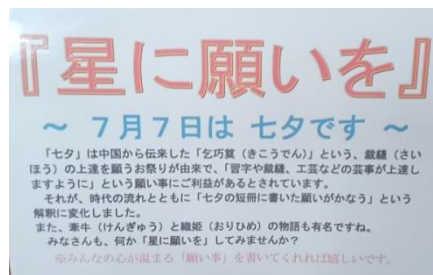
♪笹の葉 さ～らさら

～『星に願いを』短冊に願いを込めて～

生徒玄関とミニギャラリー、2年教室横廊下に、七夕用の短冊と笹が設置されました。

多くの子ども達が、五色の短冊に、様々な願い事を書いて、飾り付けてくれました。学力・成績向上や運動・健康、恋愛成就など、子どもらしい願い事が多く書かれていました。

みんなの願いが叶うといいですね。



親の愛情・役割 と ありがたさ

～ツバメの巣づくりから～



生徒玄関の中庭側の軒下に、5月末ごろからツバメのつがい巣づくりを始めました。数分おきに土や枯れ草を口にはさんでせっせと巣づくりに励み、2週間ほどかけて立派な巣を完成させ、そして、この猛暑のなかじっと卵を温めています。その姿に、親の愛情と責任感、そしてありがたさを感じています。長崎県では平成13年から「ココロねっこ運動」として、子ども達の心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動を展開中です。家庭が果たす役割の重要性を改めて感じています。